

2021年11月1日09:30 (日本時間) / 00:30 (協定世界時) まで公開禁止

auじぶん銀行 日本製造業PMI®

10月の製造業、より力強い成長を記録

主な動向

生産高と新規受注数は再び増加

購買価格と販売価格、過去13年間で最大の上昇率

景況感、調査史上最高の指数に成長を加速

2021年10月のデータ収集期間：2021年10月12～22日。

日本の製造業は、10月に業況がさらに改善していることを示した。生産高と新規受注数は再び増加。新型コロナウイルス感染症に係る制限措置緩和が、業況の全体的な力強い成長に貢献した。その一方で、原材料不足と納期の長期化が引き続き製造業を圧迫していることから、購買価格にかかる圧力が勢いを強め、2008年8月以来の高い指数となった。しかし、調査回答企業は、今後12か月で生産高が増加するだろうと強気な姿勢を保った。楽観的な景況感は調査史上の最高値を記録した。

10月の主要指数のauじぶん銀行日本製造業購買担当者指数™(PMI) (製造業の全体的業況を表す指標)は、9月の51.5から53.2へ上昇し、9か月連続の業況改善となった。改善の勢いは4月以来最も大幅だった。

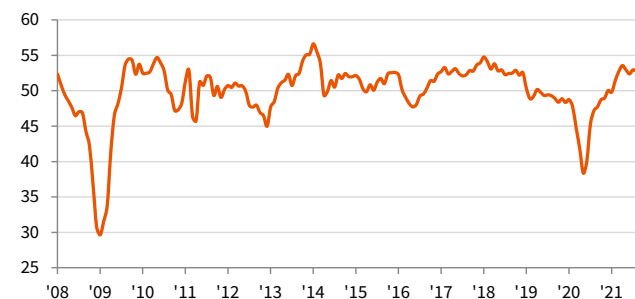
指数の改善は、生産高が増加傾向に回復したことが一部影響している。生産高は全体的にみると若干の増加ではあるとはいえ、前回調査期間の減少傾向から増加に転じた。企業らは、新型コロナウイルス感染症の制限措置解除により、生産高が増加したことを指摘。ただし、続く原材料不足により増加の勢いは阻まれている。

新規受注数も9月は減少傾向にあったが、10月は増加傾向へ戻った。とはいえ増加の勢いはわずかで、今年に入ってみられた平均値よりも小幅だった。売上高増加の要因については総じて、新型コロナ新規感染者数が減少したことによる顧客需要の増加が挙げられたが、サプライチェーン納期長期化の煽りを受けてその勢いは押しとどめられた。10月は新規輸出売上も増加を記録。ただしその勢いはわずかだった。

同時に10月は、雇用者数が前月よりわずかに速いペースで引き続き増加しており、増加率は2019年4月以来最大となった。需要が伸びており、企業に求められる生産能力が増加したことが指摘された。新規受注数の増加に並び、10月の受注残がさらに増加した。しかし、受注残増の勢い自体は直近3か月間では最も低く、小幅だった。

(次頁に続く)

auじぶん銀行 日本製造業PMI
季節調整済み、>50 = 前月比で改善



出典：auじぶん銀行、IHS Markit

コメント

IHS Markitエコノミスト、Usamah Bhattiによる最新調査結果についてのコメント

「第4四半期の初めとなる10月のPMIデータは、日本の製造業が以前に増して力強く拡大していることを指摘した。生産高と新規受注数が再び成長する中、業況回復の勢いは9月と比較して加速している。製造業PMI主要指数は全般的に、4月以来の最高値を記録。今年に入ってから2番目に高い指数となった。

製造業は、直近の調査期間でも生産高と需要を押しとどめる原因となった、サプライチェーンの大混乱を引き続き懸念している。さらに、原材料不足と納期長期化により購買価格が大幅に上昇し、平均間接費は2008年8月以来の大幅な勢いで上昇した。利益を確保するため顧客に対する販売価格を引き上げたため、工場渡し価格の価格上昇率は過去13年間で最大を記録した。

しかし、日本の製造業は今後の見通しについて、楽観的な見方を強めたとコメントしている。景況感は2012年7月に開始した調査史上で、最高値を記録。コロナ禍の収束が、市場の広範囲にわたる回復を促すだろうという期待が、勢いに拍車をかけた。これは、今年の成長率を7.1%、そして2022年の成長率を4.3%とするIHS Markitの製造業生産高予測とも概ね一致している。」

日本の製造業は、10月の平均間接費が上がったことを指摘した。上昇は17か月連続に及び、購買コストは9月からさらに加速する勢いで増加しており、2008年8月以来最も大幅だった。この増加について、原材料価格の高騰が主な要因である。製造業は、平均間接費増加分の一部を、販売単価を通じて顧客に転嫁しようとしたことから、販売単価は過去13年間にわたる調査期間中で、最も速いペースで上昇した。

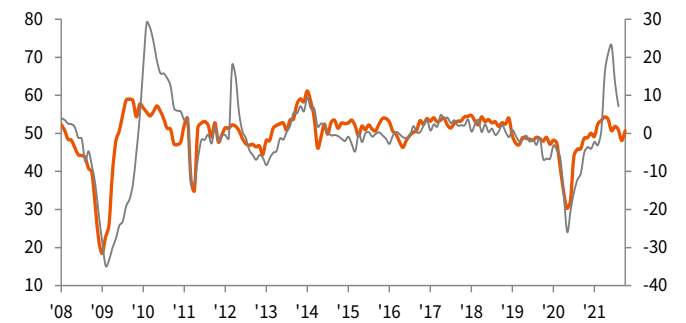
10月の購買活動は、直近8か月間で7度目となる増加を記録し、9月の減少傾向から一転した。しかし増加幅は全体的に若干で、原材料の納期遅延や不足への対策として、在庫確保に買い増しする企業があったことを要因にあげた。原材料不足は直近の調査期間でも顕著で、2011年4月以来の納期長期化となった。買い増し行為の結果、企業らは将来的な混乱への対策として購買品と完成品の安全在庫を確保した。購買品と完成品それぞれの季節調整済み指数は各々7年超、3年超という調査期間で最高値を記録した。

今後1年間の生産高に対する企業の見通しは、2012年7月以来最高となり、コロナ禍の収束が広範囲にわたる市場の回復につながるだろう、という期待に下支えされている。

PMI生産高指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加

製造業生産高
前年比 (%)



出典: auじぶん銀行, IHS Markit, 経産省

お問い合わせはこちらへどうぞ

auじぶん銀行
Grp-S-I-Room@jibunbank.co.jp

Usamah Bhatti
エコノミスト
IHS Markit
電話: +44 1344 328 370
usamah.bhatti@ihsmarkit.com

Joanna Vickers
コーポレートコミュニケーション
IHS Markit
電話: +44-207-260-2234
joanna.vickers@ihsmarkit.com

調査方法

auじぶん銀行日本製造業PMI®は、IHS Markitが製造業約400社の購買担当者に毎月調査を行い、その回答をもとにまとめています。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数(ディフュージョン・インデックス)を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数は購買担当者指数™(PMI)です。PMIは次の5つのサブインデックスの加重平均です: 新規受注(30%)、生産高(25%)、雇用(20%)、サプライヤー納期(15%)、購買品在庫(10%)。ただしサプライヤー納期指数は、結果として得られる数値が他の指数と比較可能になる計算方法で算出しています。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調整要因は必要に応じて修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

2021年10月のデータ収集期間: 2021年10月12~22日。

PMI調査方法の詳細は、economics@ihsmarkit.comへお問い合わせください。

免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はIHS Markitに帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、IHS Markitから事前の承諾がない限り認められません。IHS Markitとauじぶん銀行は、当レポートの内容またはそこに含まれる情報(「データ」)、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱落、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでなく、またこれにもとづきとらたけたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、IHS Markitとauじぶん銀行は一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はMarkit Economics Limitedの登録商標、もしくはMarkit Economics Limitedに使用が許諾されたものです。IHS MarkitはIHS Markit Ltd及び/又はその関連会社の登録商標です。

auじぶん銀行日本PMIのスポンサーは auじぶん銀行株式会社です

auじぶん銀行は2008年にKDDIと三菱UFJ銀行の共同出資により設立されたネット専業銀行です。「手のひらにある銀行」として、口座・金融商品・決済などに関して、スマホユーザー視点でサービス展開をしております。キャッシュカードなしで入出金可能な「スマホATM」、為替相場の動きを予測する「AI外貨予測」、Amazon Alexaへの対応など、ユーザーエクスペリエンスを豊かにするために様々な取り組みを行っています。

IHS Markitについて

IHS Markit(NYSE: INFO)は、世界の経済を促進する主要産業・市場のために必須情報・分析・ソリューションを提供するリーディングカンパニーです。次世代の情報・分析・ソリューションを企業、金融機関、各国政府に提供し、経営効率の改善および正しい情報に基づいた意思決定のための洞察に役立てていただいております。企業・政府機関の顧客数は50,000を超え、ここにはFortune Global 500企業の80パーセントと世界の大手金融機関も含まれます。

IHS MarkitはIHS Markit Ltd及び/又はその関連会社の登録商標です。その他全ての社名及び製品名はその各々の所有者の商標である可能性がありますのでご注意ください。©2021 IHS Markit Ltd. 禁無断転載。

IHS Markitのプレスリリースを受け取りたくない場合は、joanna.vickers@ihsmarkit.comへお知らせください。弊社のプライバシーポリシーは、[ここをクリック](#)してください。

PMI(購買担当者指数)

「購買担当者指数™(PMI)」、調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、ihsmarkit.com/products/pmi.htmlをご覧ください。